

池上線長原駅が、鉄道建築協会賞「佳作」を受賞！

東急株式会社

東急電鉄株式会社

今般、東急電鉄株式会社(以下、東急電鉄)が、2021年12月下旬に竣工した池上線長原駅が、一般社団法人鉄道建築協会による第67回鉄道建築協会賞の作品部門で、「佳作」を受賞したことをお知らせします。この受賞は、全国の鉄道事業者から応募された全55作品の中から選ばれたものです。

鉄道建築協会賞「佳作」は、一般社団法人鉄道建築協会が、鉄道建築におけるデザインおよび技術の向上に貢献したと認められる建築作品などを表彰するものです。

今回の受賞では、長原駅のリニューアル工事において地域の特性を活かし、仕上の一部に多摩産材を活用し、温かみと親しみのあるデザインとしたことや、多摩産材の伐採～加工動画の東急線内での放映やフードロス対策イベント「きになるフードロス」開催等の環境配慮や駅周辺 MAP および工事 PR 冊子を製作し地域の発信を行った取組みが評価されました。

本事業は、池上線戸越銀座駅、旗の台駅に続き、1967年の地下化・駅舎開業から50年以上経過した長原駅における「安全・安心」「環境性能」をさらに高める改修工事に伴い実施したものです。

地上階の駅舎や東急ストア入口、改札外に新設する店舗の一部は、東京都多摩地区で生産された多摩産材を活用し、木のぬくもりが感じられる軒下空間を演出することで、駅とまちが柔らかくつながる心地よい空間となりました。また、地下階にある電車と駅の接点になるプラットフォームは、既存躯体を利用したゲートのような意匠とし、池上線沿線ならではの温かさやぬくもりが感じられる駅になっています。

加えて、「きになるフードロス」の取組みは、長原駅および池上線沿線の全4店舗が参画し、閉店後の各店舗から店舗営業時間内に販売しきれなかった商品を集荷し、長原駅構内で販売したものです。池上線沿線店舗からの商品運搬には電車や自転車を利用することで、運搬時のCO2排出量は自動車利時用と比較して約5kg削減されました。

両社は、今後も地域の魅力が感じられ、誰もが無意識に環境に優しい取組みに参加できる循環型まちづくりの実現を目指し、地域とつながる駅空間の創出に取り組むことで、東急線沿線のサステナブルなまちづくりを推進していきます。

詳細は、別紙の通りです。



▲長原駅改札正面

▲長原駅外観

▲長原駅ホーム

【別紙】

■池上線長原駅 概要

建物名称：池上線長原駅・東急長原駅ビル

事業主体：東急電鉄株式会社・東急株式会社

所在地：東京都大田区上池台1-10-10

工事内容：駅舎天井・外壁・東急ストア入口改修工事・改札外店舗新設工事 など

※改札外コンコースは「多摩産材木材」を活用

設計者：東急電鉄一級建築士事務所・株式会社交建設計

デザイナー：トラフ建築設計事務所

リニューアルコンセプト

「ちょっとときになる 暮らしのまんなか」

駅は生活時間のまんなかにある場所なので、駅とまちが柔らかくつながる心地よい場所になるために、軒下にちょっと木を使い、路地に並ぶ建物と駅舎がまちと溶け込むように外壁は緑色にしました。いつも使っている駅で、ちょっと素敵な生活時間を過ごしていただきたいという思いを込めています。

多摩産材概要

東京都内の多摩地域で生育し、生産された木材を「多摩産材」と呼びます。東京は、総面積の約4割を森林が占める自然に恵まれた世界でも有数の大都市であり、地場の多摩産材を活用することは、水源のかん養や災害の防止、二酸化炭素の吸収などの森林の多面的な機能を発揮するとともに、東京における持続的な森林整備と林業振興にも繋がります。



▲「多摩産材」ロゴマーク ▲「多摩産材」イメージ

その他の取り組み

・木材活用が「植える・育てる・使う」という森林資源の循環を促進し、東京都の森林・環境保全に貢献につながることを発信するため、木材伐採～加工の様子動画を作成しました。完成した動画は車内広告及び YouTube へ掲載いたしました。

木材伐採編：<https://www.youtube.com/watch?v=LIiT3Y1DfkM>

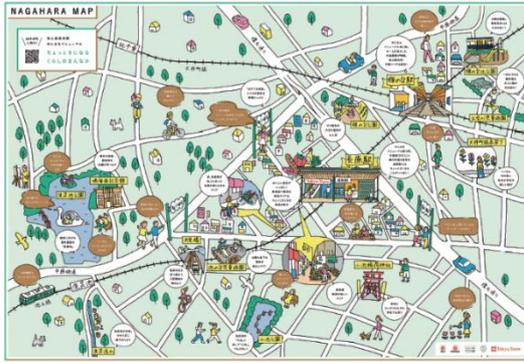
(車内広告掲載期間：11月1日～7日、15日～21日、19日～12月5日)

木材加工編：<https://www.youtube.com/watch?v=AoVlaUlnOBs>

(車内広告掲載期間：2022年6月6日～12日、20日～26日)

※現在掲載は終了いたしました。

・長原駅拠点の出版社「コトノハ」と連携し、長原駅 PR 冊子・長原駅周辺 MAP を作成いたしました。長原駅 PR 冊子に関しましては、出版社「コトノハ」が発刊する雑誌「街の手帖」の号外として作成いたしました。



▲長原駅周辺 MAP



▲長原駅 PR 冊子「街の手帖 号外」

出版社「コトノハ株式会社」

「東京の南。池の近くの本を作る会社。」をキャッチフレーズに池上線沿線の出来事を取り上げた「街の手帖」を発刊しています。(<https://cotonoha.co>)

デザイナー・アキテクト「トラフ建築設計事務所」

鈴野浩一氏と禿真哉氏により 2004 年に設立。建築の設計をはじめ、ショップのインテリアデザイン、展示会の会場構成、プロダクトデザイン、空間インスタレーションやムービー制作への参加など多岐に渡り、建築的な思想をベースに取り組んでいます。(<http://www.torafu.com/>)



▲鈴野 浩一氏



▲禿 真哉氏



▲TEMPLATE IN CLASKA
(hotel/2004.04)



▲NIKE 1LOVE (shop/2007.01)

■「きになるフードロス」概要

場 所：池上線長原駅改札付近

実施時期：2021年12月13日(月)～12月23日(木)

実施時間：21:30頃～22:30頃(商品が無くなり次第、閉店)

運営主体：株式会社コークッキング

運搬主体：CBcloud株式会社

参画企業：全4店舗(ドトールコーヒーショップ 長原駅店・旗の台中原街道店、東急ストア 長原店、サンジェルマン 池上東急フードショー店)



株式会社コークッキング

コークッキングは、パン屋を始めとする中食・飲食店舗で、閉店までに売り切るのが難しい食事を、アプリのユーザーとマッチングするフードシェアリングサービス「TABETE(タベテ)」を運営する会社です。まだおいしく安全に食べられるのに廃棄の危機に面している食事を「レスキュー」することで、食品ロスの削減に貢献します(<https://tabete.me/>) ユーザー:約55万人/掲載店舗:約2,400店舗(2022年11月現在)

CBcloud株式会社

CBcloudは、物流業界の多重下請けやドライバーの労働環境の改善をはじめとした構造的課題を解決し、新たな社会インフラを構築していく会社です。“「送りたい」と「届けたい」を繋げる”マッチングプラットフォーム「PickGo」、”物流を現場からスマートに”変革する物流DXシステム「SmaRyu」の2つのサービス群を提供しています。(<https://cb-cloud.com/>)

●PickGo

物流業界には、情報の取り次ぎのみを行う中間プレイヤーが数多く存在しており、コミュニケーションや費用面において非効率的な状況が発生しています。PickGoは荷主と「配送パートナー」、「実運送会社」を直接つなぐことで、この多重構造を打破することを目指す、唯一の配送マッチングプラットフォームです。CBcloudでは、個人向けサービスの「PickGo」で買い物サービスと受取りサービスを展開するほか、法人向けサービス「PickGo for Business」を提供しています。

「PickGo」サービスページ: <https://pickgo.town/>

参画店舗

①ドトールコーヒーショップ 長原駅店、旗の台中原街道店

人々の生活に欠かすことのできない”エッセンシャル・ブランド”となることを目指し、お客さまに、「ドトール、のち、はれやか。」な気持ちになっていただける、おいしいコーヒーや丁寧なサービスをお届けしています。また、安全・安心な商品の提供はもちろん、フードバンクとの提携や一部商品の割引販売を実施するなど、フードロス低減に取り組んでいます。

②東急ストア 長原店

お客さまの日々の暮らしに役立つスーパーマーケットとして、ショッピングの便利さを提供するだけでなく、いつも安心で気持ちのよいお買い物と、お客さまの暮らしに美味しさと楽しさをお届けします。また、大田区食べきり応援団に登録し、生鮮食品やデリカ食品では、小分けした食べきりサイズ商品の充実などによりフードロス削減に取り組んでいます。

③サンジェルマン 池上東急フードショー店

「TENDRESSE一タンドレスー」これが私たちの合言葉。フランス語で「心くばり」を意味します。安心・安全で良質な素材選び熟練の職人による丁寧な商品づくり地域のニーズにこたえる店舗展開、その一つひとつに、まごころを込めて。たくさんのお客さまに、おいしさを届けます

廃材の活用

「きになるフードロス」の販売所においては、木造旧駅舎の廃材を活用した机や、スタッフのエプロンは「PARK COFFEE」でも活用されている鉄道の技術服をリメイクしたものを使用するなど、環境負荷低減に取り組んでいます。(参考: <https://www.parkcoffee-oimachi.com/>)



▲リメイクしたエプロン



▲廃材を活用した机

■「一般社団法人鉄道建築協会」概要

鉄道建築の計画・設計・保全に関わる技術開発、調査研究、出版、講演会、各種表彰等の活動による鉄道建築技術の発展および会員相互の交流に努めています。

鉄道建築協会賞概要

鉄道建築におけるデザインおよび技術の向上に貢献したと認められる建築作品ならびに論文業績に対し、鉄道建築協会賞を授与し、その業績を顕彰しています。

過去の主な受賞実績（2009年～2021年）

●2021年度

池上線池上駅改良・駅ビル開発

- ・鉄道建築協会賞「特別賞」
- ・ウッドデザイン賞2022「入賞」
- ・ウッドシティ TOKYO モデル建築賞「奨励賞」
- ・令和4年度木材利用優良施設等コンクール「優秀賞」

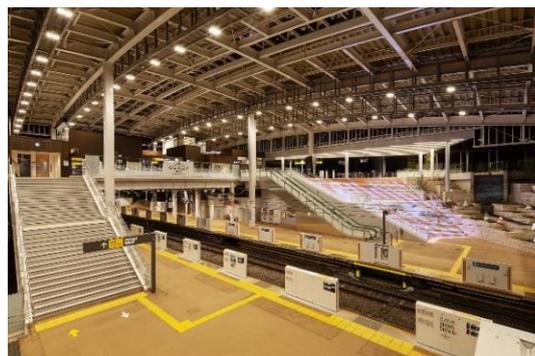


▲池上線 池上駅

●2020年度

田園都市線南町田グランベリーパーク駅改良

- ・鉄道建築協会賞「停車場建築賞」
- ・令和2年度都市景観大賞(都市空間部門)「国土交通大臣賞」
- ・第40回緑の都市賞「国土交通大臣賞」
- ・第8回プラチナ大賞「優秀賞」
- ・第1回グリーンインフラ大賞(都市空間部門)「優秀賞」



▲田園都市線 南町田グランベリーパーク駅

池上線 旗の台駅

- ・鉄道建築協会賞「入選」
- ・第15回木の建築賞「選考委員特別賞」「メンバーズチョイス賞」
- ・ウッドデザイン賞2020「入賞(ソーシャルデザイン部門)」
- ・グッドデザイン賞2021「入賞」
- ・ウッドシティ TOKYO モデル建築賞「優秀賞」



▲池上線 旗の台駅

●2017年度

池上線戸越銀座駅 木になるリニューアル

- ・鉄道建築協会賞「特別賞」
- ・第20回木材活用コンクール「農林水産大臣賞」「木質開拓賞」
- ・2017年度木材利用優良施設コンクール「林野庁長官賞」
- ・第6回木質建築空間デザインコンテスト「一般建築部門賞」
- ・ウッドデザイン賞2016「入賞(ソーシャルデザイン部門)」



▲池上線 戸越銀座駅

●2013年度

大井町線緑が丘駅

- ・鉄道建築協会賞「入選」



▲大井町線 緑が丘駅

●2013年度

東横線武蔵小杉駅 駅ビル増築および駅改修

- ・鉄道建築協会賞「入選」



▲東横線・目黒線 武蔵小杉駅

●2012年度

大井町線上野毛駅

- ・鉄道建築協会賞「停車場建築賞」

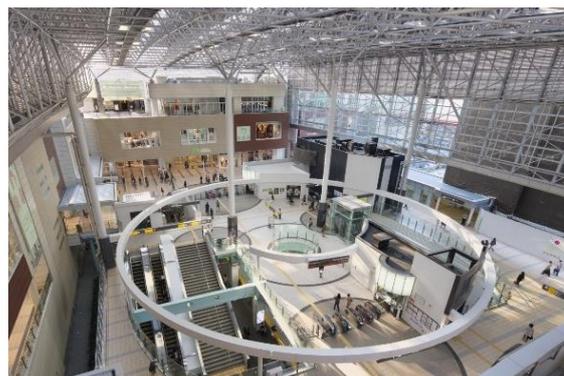


▲大井町線 上野毛駅

●2010年度

田園都市線たまプラーザ駅

- ・鉄道建築協会賞「最優秀賞」
- ・第9回横浜人・まち・デザイン賞(まちなみ景観部門)



▲田園都市線 たまプラーザ駅

●2009年度

東横線・東京メトロ副都心線 渋谷駅

・鉄道建築協会賞 「特別賞」



▲東横線・東京メトロ副都心線 渋谷駅